

ベンチ寄付制度 「まごころベンチ」の創設を

小野 潔



問 ①1回目接種終了者が86%、当市の接種率は素晴らしいが要因は②3回目接種の準備状況は、ファイザー、モデルナとの交差接種の考え方は③小中学校の感染症対策として水道の蛇口をセンサーなどの非接触型へ④事業費約7000万円の「事業発展補助金の状況は⑤国が行う0歳から18歳、住民税非課税世帯への10万円の給付金、生活困窮者自立支援金30万円、中小企業最大250万円、個人・フリーランスへの最大100万円を支給する「事業復活支援金」などへの所見は。

答 ①11月末で1回目接種は87%で、要因は夏休み期間に小中学生へ接種を可能とし、円滑に進んだこと②3回目接種は12月医療従事者、一般は2月より高齢者から予定、会場は前回同様で。ファイザー、モデルナは日毎で分け、交差接種に的確に対応③財源を含め研究する④現在まで210件申請、農業事業者にも推進⑤国の動向を注視して適正に対応。

問 第一土地区画整理地内の近隣公園・街区公園などの越境した樹木、壊れた遊具・ベンチへの対応に、ベンチ寄付制度の創設を。

答 公園再生プロジェクトの中で対応する。

当市における観光と 地域活性化について

大泉 日出男



問 吉川版サイクリングコースの充実を検討してみているかどうか。

答 サイクリングコースによる市内観光は地域活性化に寄与すると認識している。この度、市内HPのレンタサイクルページに「なまずの里吉川ルート」の紹介を掲載していく。

問 今までの観光支援の取り組みと、これからの具体的な取り組みは。

答 なまずやイメージキャラクターや大吉ブランドなどで市の魅力発信に努めた。市内事業者が、Withコロナ対応ができるよう「事業発展補助金」を創設し支援している。

問 観光への支援や地域活性化を目的としてワーケーション、リモートワークの推進があるが、観光と地域活性化を一緒に融合させる視点で、例えば吉川市民農園をモデル施設にしてみているかどうか。

答 市民農園に設置できる施設が、農地保全又は農地利用上必要な施設に限定されているため難しい。今後のニーズの高まりや、民間事業者が設置しているワーキングスペースの活用状況を注視していく。

スポーツとまちづくり

稲葉 剛治



問 吉川市ではスポーツビジョンが策定され、現在スポーツ推進計画の策定が進められている。計画が策定されることで施策のさらなる推進を期待している。吉川市スポーツ推進計画の基本方針、どのような視点と理念で計画策定を進めているか。

答 「吉川市スポーツ推進ビジョン」に基づき、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための指針として策定する。

問 計画案にパラスポーツの観戦が盛り込まれているが、どのような内容か。

答 市内在住の方でロービジョンフットサルの世界大会で活躍される方がいる。その方と情報共有しながら、今後の観戦する機会や、体験する機会などを進めていくというような内容を協議している。

問 アクアパーク駐車場の増設を。

答 現在アクアパークの南側で道路整備が行われている。工事の進捗を確認しながら駐車場増設を検討する。

三郷北部土地区画整理事業の 現状と道庭地区への影響

成本 直寛



問 現在、三郷北部土地区画整理事業が行われている。近隣住民の方の関心は非常に高い。

事業の進捗による吉川市内（特に隣接する道庭地区）への現時点での影響・課題・対策などは。

答 当事業は三郷市・土地区画整理組合が盛土工事や調整池築造工事を実施している。周辺の住環境に影響を及ぼすことを懸念し、周辺住民に情報提供の実施や住宅地内への工事車両進入防止、土砂の飛散軽減対策、騒音対策など、住環境に配慮し工事に取り組んでいる。

問 事業の影響により、三郷市小中学校に通う約45名の児童生徒が道庭地区（けやき通り行政境）を通る迂回ルートで通学している。期間は令和6年12月末まで。安全対策として、地域の方が街路樹の枝を払い見通しを良くしたり、交通安全ののぼりを設置し、安全安心に努めている。横断歩道・交差点の安全対策は。信号機の設置予定はあるか。

答 三郷市と土地区画整理組合・吉川警察署が協議の上、注意看板の設置・交通誘導員の配置等、交通安全の対策を実施している。信号機の設置は今のところ計画は無い。